


機器名	ガスクロマトグラフ分析装置(GC)	
メーカー名・型番	GL Science GC390B	
分類	分析・観察関連	
仕様	検出器: 水素炎イオン検出器(FID)および熱伝導度検出器(TCD) オープン温度:(室温+10°C)~400°C 気化室温度:(室温+10°C)~400°C 気化室:スプリット/スプリットレス、セプタムパージ オートサンプルインジェクター搭載(注入量 0.1~5.0 μL、0.1 μL ステップ)	
特徴	気体や液体状の化学物質を定量分析する装置です。熱伝導度検出器(TCD)と水素炎イオン化検出器(FID)を備え、永久ガスや有機化合物が分析対象となります。TCD に対してはステンレス製やガラス製カラムが、FID に対しては内径が 0.25~0.53mm のキャピラリー(毛細管)カラムが装着できます。液体分析ではオートインジェクターの利用が可能です。また、解析ソフトは操作が簡単で、使いやすいのが特徴です。	